



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30 ~ 13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
	電	話 0235 (2) 7711

会長	嶺	岸	光	吉
幹事	佐	藤	徳	衛
会報委員長	川	村	繁	男
	小	池	正	治
	西	海		一
	佐	藤		昇

No., **1076** 1980. 10. 7 (火) (晴) No.,14

ヒンター紹介

笹本森雄君	ホテル	} 鶴岡西R.C
斎藤吉雄君	陶管販売	
半田茂弥君	石油販売	

◆ ゲスト紹介

米山奨学生 エテバリ君

◆ 誕生祝

◎ 会員誕生

秋野忠君、石井敬三君、石川寿男君、川村徳男君、佐藤元伸君、高橋耕二君、富樫良吉君、山口篤之助君

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために

◎奥様誕生

石井博子様、三浦明子様、熨斗よね子様、斎藤脩子様、佐藤登久子(昇)様、玉城常磐様、内山キミ様

◆皆出席表彰

◎年間皆出席

4年間皆出席 西海正一君

◎9月125%出席 15名

張君、早坂(源)君、石黒君、市川君、川村君、小松君、三井(健)君、嶺岸君、迎田君、中江君、菅原君、鈴木(弥)君、高岸君、上野君、内山君

◎9月100%出席 40名

秋野君、阿蘇君、阿部(与)君、藤川君、中村(真)君、飯白君、今野君、石井君、石川君、板垣(俊)君、板垣(広)君、風間君、黒谷君、小池君、三井(賢)君、三井(徹)君、本山君、森田君、中野君、西海君、野村君、小野寺君、斎藤(得)君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、佐藤(順)君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、横田君、佐藤(元)君、新穂君、菅君、鈴木(善)君、高橋(正)君、高橋(良)君、丹下君、手塚君、富樫君、山口君、吉野君

会長報告

嶺岸光吉君

10月に入りいよいよ秋も深まり、紅葉の季節となって参りました。

○10月定例理事会決議事項

1. 会員の津田君が病気のため斎藤胃腸科病院で手術の結果、1ヶ月程の療養を必要としております。本人より賜暇願いが出ております。(理事会で承認致しました)

○10月の行事予定

(1) 10月1日～10月7日までの期間が米山週間となっております。今日は米山奨学会地区委員の三井徹君にスピーチをお願いしております。

(2) 10月12日～18日までの期間が職業奉仕週間となっております。10月14日の例会では職業奉仕委員長の佐藤元伸君をお願いしてあります。

尚、10月14日は、第3回のクラブ協議会を開催いたします。会場が酒田中国飯店中江君の所でございます。各委員長さんは必ず出席願います。

委員長が欠席の場合はどなたか代理の方を出していただきます。

(3) 10月21日の例会は10月18日(土)例会変更でございます。庄内浜の味覚を楽しむ会を西ロータリークラブと合同例会と親睦会を開催いたします。

当クラブの釣大会も当日に行われる計画のようでございます。詳細については親睦委員会より発表があります。

以上10月の行事予定を申し上げます。

幹事報告

会報到着

石巻R.C、鹿児島西R.C

分区幹事より庄内分区ゲストスピーカー名簿

立川池田好雄	僧侶	02345-6-2103
立川八木清	著述業	02345-7-2515
温海渡部晃雄	仏教	02354-7-2220
鶴岡西菅原年雄	建設業	0235-33-2511
「庄内の郷土玩具について」		
鶴岡西瀬尾助三郎	自動車教習所	0235-22-6200
「企業の人づくり」		
鶴岡石黒慶之助	歯科医院	0235-22-0509
酒田東和嶋茂男	証券業	0234-22-6111
八幡阿部喜代太	行政監査役	023464-2466
八幡町市條字水上33		
余目佐藤孝二郎	農業	02344-2-2163
「女の顔」		
遊佐五十嵐正覚	仏教	02347-7-2101

酒田東R.C 10月16日の例会は、いも煮会のため午後3時、最上川河川公園。

酒田R.C 10月8日、11時 いも煮会のため酒田カントリーに変更。

例会終り次第コンペも行います。

10月15日、12時30分 日和山公園会館「禅について」

10月29日～10月30日 交通安全のフィルム鑑賞 酒田産業会館3階

委員会報告

◎ローターアクト委員会

委員長 阿蘇司朗君

10月5日に県内のローターアクトクラブのメンバーが今泉海岸にて芋煮会を行いました。30名位で非常に盛会でした。ほとんどの会員が海というものがわからない会員ばかりで、久し振りに海に来たということで天気も良く、一般の方も多数おりました。当日、会長を招待しましたがけれども多忙にて出席できませんでしたので次回はぜひおさそいしたいと思います。

非常に若さがいっぱいであるような大会もそうですけれども、この度の芋煮会も盛大で本当におさそいしたかった。若返りには一番いいような感じを受けました。次回は是非出席下さるようお願いします。

◎親睦活動委員会 釣大会について

佐藤 忠吉

磯釣大会を10月18日に変更。鶴岡商工会議所前に8時まで集合願います。

午後4時まで。以後合同例会に出席。

三瀬・琴平荘一泊 ￥3,000 希望者はご一報下さい。

1. 米山梅吉氏に就いて

ロータリー日本50年史によると、三井銀行の米山梅吉は1918年（大正9）財政調査団に加わって訪米し、正月をテキサス州のダラスで迎えた。其処には三井物産の福島喜三次がいて、ダラス R.C のの会員になっていた。米山氏はここで初めて、福島氏からロータリーについて聞き大いに心を動かされて帰国した。

福島氏は1920年帰国、ダラス R.C、更には R.I 本部から日本にロータリークラブをつくることを奨められ、依頼された。しかし当時はまだ封建色の強い日本の社会ではなかなか理解されにくかった。努力の結果、漸く1920年（大正9）10月20日、東京 R.C が誕生した。初代会長は米山梅吉、幹事は福島喜三次、会員24名であった。登録番号855。

少し余談のようになるが、それから3年後に関東大震災が起こった。それに対して、R.I 本部から25,000ドル、シカゴ R.C から1,500ドル、サンフランシスコとニューヨーク R.C から各1,000ドル、その他各国503 R.C からのものも合計して89,000ドルに達する義援金が大阪 R.C を通して送られた。又、東洋にあったアメリカ艦隊が食糧、その他救援物資を運んで60時間以内に横浜港に着いた。アメリカ政府と赤十字の救援である。日本国民は非常に感激した。このような出来事が日本のロータリーの一つの礎石になったと考えられる。その中には米山氏の人徳に関するものがあるように思われる。

- 米山梅吉氏略伝 明治元年、東京で高取藩士の三男として生れた。5才の時、父を失った。幼にして神童と云われ、母の郷里三島の大地主米山家の養子となった。沼津中学2年中退で東京に出奔し、苦学4年の後20才で渡米、8年間留学した。帰国後三井銀行に入社、42才にして池田茂彬氏と共に常務取締役に就任、財界の重鎮になった。大正9年、東京ロータリークラブ創立、会長。大正13年国際ロータリー70地区初代ガバナー。身を以ってロータリーを実践し、宣教師の如き熱心さで会員を指導した。昭和15年9月11日時勢によって、断腸の思いで東京 R.C を解散。その後水曜クラブと形を変えてロータリー精神の存続を計った。終戦後、東京 R.C の復活を見ることが出来ず昭和21年4月28日、誠実と善意の生涯を閉じた。

東京 R.C は昭和24年待望の国際ロータリー復帰を実現した。米山氏が生前、東南アジア留学生を多数私費で援助していた志を継いで、戦後のアジア民族融和に資する目的で留学生のための奨学基金をつくった。

米山氏は端正な人格で、文学を好み、漢詩を作り、和歌・俳句にも秀いで、時には英語で落語をやるユーモアもあった。そのテーブルスピーチは堂に入ったものと云われ、多才な人であった。又几帳面さ、潔癖さも伝えられている。向学心に燃え乍ら学資に窮する学生には援助を惜まず、その面倒見は行届いて大きな感動を与えることが屢々あった。然し自分の名を出すことを好まず、常に無名の激励者たることを望んだ奥床しさは、ロータリーの奉仕の精神である。米山奨学事業は米山氏のこのような心に賛同した全国ロータリアンの共同

事業である。

2. 米山奨学事業の沿革

- 昭和28年(1953) 東京 R.C が東南アジア留学生を対象に米山基金(米山フェンド)を設立。(ロータリー財団は1947年設立)
- 昭和32年(1957) 9月 米山奨学委員会結成。徐々に他の R.C の賛同、参加が拡大、世話クラブ制度発足。
- 昭和35年(1960) 1月 「ロータリー米山記念奨学会」の名称制定、日本全国の R.C の参加実現。
- 昭和42年(1967) 1月 「財団法人米山記念奨学会」発足。(文部省認可)
英文名 THE POTARY YONEYAMA
MEMORIAL FOUNDATION, INC.

3. 組織と運営

文部省の監督下にある

執行機関：理事長 1名、副理事長 3名以内、理事 20~30名、専務理事 1名
常務理事 5名以内、監事 3名以内。評議委員 100~200名以内。
ガバナー、ガバナー・ノミニ、その他。

4. 奨学会の目的及び事業

主としてアジアの R.C の所在する国、又は地域から勉学又は研究のために来日し、わが国の正規の学校、又は研究所に在籍する外国人に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的とする。

- 目的達成のため
- (1) 奨学金の支給
 - (2) 奨学生及びその出身地のロータリークラブとの交友連絡
 - (3) カウンセリング(世話クラブ、カウンセラー制度)
 - (4) 国民健康保険 医療費の70%
日本国際教育協会 その残額の80%
米山奨学会 その残額全額
 - (5) 学会出席の旅費支給

最近、R.C の所在しない国・地域からの奨学生も対象になるなど、アジアのみならず全世界的な奨学生も対象になって来た。

5. 奨学会に対する寄附金

- (1) 普通寄附金 R.C 会員 1人当 1,000円以上を定額で寄附する。各 R.C が相当格差がある。最高は10,000円(3 R.C) 5,000円以上(18 R.C)
 - (2) 特別寄附金 最高 390万円 200万円以上 15 R.C、100万円以上 49 R.C
米山功労者 30万円以上の寄附者
米山功労クラブ 100万円以上
米山協力者 15万円以上
地区年次大会事務局の寄附 258地区 1,415万円
- 個人・法人の寄附に対しては免税措置がある。

(3) カウンセラー制度

- ① 学生の個人的世話の徹底を計る
- ② 各世話R.Cにつき2名以上 会長の推せん、奨学会理事長の委嘱
- ③ 任期は1年(4月～3月)(重任す)
- ④ 任 務
 - ㊦ 学生の健康、学業、生活などに留意し必要に応じて適切な処置をする
 - ㊧ 学生の隔月報告書を通読し奨学会に提出する
 - ㊨ 毎月第1例会にて学生に奨学金を手渡しするようにする
 - ㊩ 学生とR.C会員の接触を計る、広く懇談の機会を造る
 - ㊪ 学生を世話クラブ以外のR.C例会又は他のロータリーの集會に出席させるように斡旋する
 - ㊫ カウンセラーはその体験、意見を奨学会に提出し、奨学会事業の発展に協力する

(4) 米山奨学生名簿がよく出来ている、活用する。

(5) 元米山奨学生名簿 世話クラブ毎に連絡をとって消息を集めて、活動情況を知りたい。

(6) 米山奨学事業を推進しよう。

日本ロータリーの独自の制度である。

日本では外国人留学生に対する奨学制度が諸外国に比して貧弱である。

政府奨学金を受けている留学生は僅かに15%、85%は私費留学生である。

この私費留学生を対象とする殆んど唯一の国際奨学事業である。

特に東南アジア諸国に対しての貢献が大きい。高く評価されている。

学生に対しては学費の支給だけでなく、精神的援助、親睦を計る。

学生を国際文化使節としても遇するように考える。

学生の将来の活動を期待し、出来るだけ連絡を密にして、国際親善に寄与する学友会組織を考える。

日本が国際的に発展して行くためには又、アジアをはじめ世界平和を希うためには、この米山奨学会の事業を推進することが非常に効果的である。

奨学生数 昭和54年度は 250名 開始以来 439カ国 2,463名

本年度から260名に増員する。

寄 附 金 昭和54年7月～55年6月

普通寄附金 171,084,200円 特別寄附金 337,674,159円

出 席 報 告

本出	会 員 数	68名	欠	秋野君、早板(徳)君、石黒君、板垣(俊)君、市川君
日	出 席 数	52名	席	風間君、黒谷君、三浦君、皆川君、本山君、中野君
の席	出 席 率	76.47%	者	野村君、佐藤(昇)君、新穂君、高橋(耕)君、渡会君
前出	前回出席率	80.88%	メア	阿部(与)君一山形西R.C 佐藤(衛)君、横田君
回	修正出席数	64名	1ツ	高橋(良)君、山口君一温海R.C 板垣(広)君、佐
の席	確定出席率	94.12%	クラブ	藤(昇)君、佐藤(友)君、高橋(耕)君-鶴岡西R.C